

第3回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時：平成18年10月28日(土) 午前10時から午前11時45分まで
場所：中央区役所4階会議室
出席委員：26名中19名出席 (欠席委員：7名)
傍聴人：1名

<次 第>

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
 - (1) パイロット事業について
 - パイロット事業の実施状況について
 - パイロット事業の第2次応募状況について
 - (2) 協議会の今後の取り組みについて
 - (3) その他

会議内容

次第に従い、委員長が議長を、副委員長が司会を務め会議が進められた。

- (1) パイロット事業について
 - パイロット事業の実施状況について
事務局より、資料1に基づき報告。
 - パイロット事業の第2次応募状況について
事務局より、資料2に基づき説明。

<質疑・応答>

白旗台地区部会 - 事業名；「子育てサロンの充実」

委員： 異世代交流だけでなく、障害を持つ方も含めた場所である、『ドッキングプレイス』を考えている。

東千葉地区部会 - 事業名；「笑顔のまちづくり講座

こんなまちにしたいな！わくわく編」

(質疑なし)

東千葉地区部会 - 事業名；「年忘れ ふれあい社協まつり

～餅つきと遊びの広場」

委員 事業費はどうなっているか。

- 事務局： 本会議では事業計画の内容についての参考意見をいただくということをお願いしている。事業費については審査委員会で審査します。
- 委員： わかりました。
- 委員： 地域の子ども会は、どのような対応をしているのか。
- 副委員長： 東千葉地区には、子ども会が1団体しかないのので、役割ごとにボランティアの協力を得て実施する予定である。また、役員がお膳立てを全て行うような実施方法はとらない。
- 委員： 東千葉は多彩な計画を実施されているが、部会の中で何人くらいの役員が関わっているか。また、世帯数は何世帯あるか。
- 副委員長： 有志の方も含めて、25～26人程である。世帯数は1,875世帯である。
- 委員： 単年度事業であるので、9月から大急ぎで計画を立て動いているが、東千葉は5月から計画をたて動いている。審査会でこの計画が認められない場合はどうなるのか。
- 事務局： 他の地区の模範的な事業であるので、全て審査委員会で通るように説明していきたい。大丈夫だろうと思う。
- 委員： パイロット事業の意味は何か。1回だけの講座やイベントということではなく、継続していく必要があるのではないか。また、一律10万円という額も問題がある。パイロット事業は本来地域の住民がやるべきことである。今年度だけの事業で良いのか。
- 事務局： この事業は地域福祉計画推進の起爆剤としての意味がある。長く続けていける事業ということをお願いしていたが、上がってきた事業が1回で終わるものが多いのは事実である。しかし、イベントに今まで出てこなかった人がボランティアとして参加するなど、意味がないとは思わない。17事業はまだ決まっていないが、補助金を有効活用して欲しい。
- 委員： 5年間なので、補助金を5万円にするなど少しずつ補助金が出れば良い。また、何も分からない地域に対して、立ち上げを協力して実施するという方向が良いと思う。
- 委員長： パイロット事業をきっかけとして、不足している部分を発掘し、次へつなげるような事業実施をお願いしたい。「餅つき大会」1回実施して終わるような単発的なものではなく、先へつなげるような事業を実施するようお願いしたい。
- 副委員長： 3事業あげたが、以前から暖めてきた事業をパイロット事業を活用して立ち上げたものである。補助金は単年度であるが、事業は継続して実施していく方針である。
- 委員： 初年度だけ10万円なのか。本年度という期間の枠があると内容をよく検討する時間がない。これをきっかけにということだが、き

っかけで終わってしまうことも考えられる。そうではなく、次につなげるという働きかけが必要である。地域福祉計画は PR していくが、地区部会がどういう役割を担っているかわからない。参加してみることで、自分たちにもできることがあるのかなと思えるような計画があるといいと思う。

委員： 事業を申請したきり終わりではなく、事業実施の総括をこの会議で行うべき。東千葉で既に終わった事業があるが、問題ではないか。

事務局： 本来であれば、行っていないものについての申請になるが、年度内の事業であれば対象にしていくことを社協で話し合っている。この事業は実施中の事業であり、審査委員会でもそのように説明させていただく。

委員長： 最初のほうの事業の報告についてはどうか。

事務局： 実績報告があったものについてこの場で報告をさせていただく。また、事業に関係している委員さんからご報告いただくこともできると考える。

委員長： 今後の課題としましょう。

東千葉地区部会 - 事業名；「こんなことができますよ*登録
～東千葉の達人さがし」

(質疑なし)

蘇我地区部会 - 事業名；「高齢者交通安全教室」

委員： 高齢者だけでなく、子どもも対象にする事業にできないか。

事務局： 審査委員会や蘇我地区部会へ、子どもも対象とする対応を伝える。

中央東地区部会 - 事業名；「みんなのひろば」

(質問なし)

未広地区部会 - 事業名；「地域内福祉マップの作成」

委員： なかなかまとまらなかったが、マップ作成でやっとまとまった。災害時の安全のため、独居老人リストを地区部会が持つことも考えている。又、地域住民世帯は、約4千世帯であるが、社協を知らない住民が多い。社協のPRも考えている。

(2) 協議会の今後の取り組みについて

事務局： 現在、本計画の推進の先進事業として、パイロット事業が実施されているが、基本的には本計画にあるよう各地域で地域に対応した事業実施が求められている。しかしながら、初年度ということであ

り、最初からすべての対応は無理があり、地域によってはその状況に相違がある。今後の取り組みについては、事務局として整理できなかったのもので、委員の皆様のご意見をいただき、今後の参考とさせていただきます。

委員： 企画力のある地区部会とそうでないところ等、地区によってバラツキがある。パイロット事業の補助金については、早い者勝ちとなる。申請状況を見ると、既に実施している事業もある。予算としても初年度だけというのモイカガ。地区別に何件というように割り当てがあっても良いのでは。

委員： 一律10万円というやり方は起爆剤としてはよいが、お金がかからない事業もある。単発の事業もあり、補助金にウエイトをつけた方が良いのではないか。また、事業の評価という観点から、事業実施責任者から直に報告を聞き、この協議会の中で評価をしたい。

また、各事業に事務局が参加してチェックするという対応が望ましい。

委員： 社会福祉協議会が何をやっているのか良くわからないため、地域にアピールする必要がある。

委員長： どのようにアピールするのが良いか具体的に何か考えがありますか。

委員： 広報紙を発行し、各家庭に回覧しているのですが。

委員： 住民に広報紙を配布しているが、住民はあまり見ていない。

委員長： 広報紙は各地区部会で発行している。回覧しているところもあるが、全戸配布しているところもかなりある。見る側の問題もある。

委員： 社協については、分からない部分が多くある。こどもルームが学校にあるが、社協がやっていることが、この会議に参加して初めて知った。市民は、意外と市政だよりのことを知らない。しかし、デパートのちらしは見るが市政だよりはあまり見ない人も多い。先ほどの方の言ったことも決して不思議なことではない。

委員長： いかに見てもらおうかを考えて作っている。どうしたら見てもらえるか地区部会の人が一番知りたいところなので、良いアイデアがあればと思うが。

委員： 当地区は、個別に会費を集めるときに社協の説明をしている。

社協は民間団体であるので、会費の用途については説明責任がある。また、個別集金だと理解が深まるのでは。

委員長： 会費の徴収の際はパンフレットを配布している。理解をしている自治会によっては省略している地域もあるが。

委員： 広報紙を作っているが、高齢者やサークル等の紹介、その他いろいろな記事を乗せるようにしている。独居老人への配食サービスや敬老会なども行って、地区部会も徐々に地域に浸透してきている。

(3) その他

事務局： 当会議は本年度4回実施の予定であり、次回は年度内最後の会議となる。最後の会議なので、概ねパイロット事業が終了する頃を目安に開催したいので、2月10日(土)か17日(土)の午前中を考えている。

委員： 事業が終わってから聞く方が無駄がなくてよい。

委員： 60事業のうち43事業が決まっているが、その後の追加事業についてはどんな対応をするのか。次の事業が決定する前に、パイロット事業の問題点をピックアップしたほうが良い。

委員長： 第3次として募集するか、随時とするか決まっていなかったがたぶん受付をすると思う。

事務局： 未実施の地区部会については、社協で働きかけるようにしている。

事務局： 地区部会の事情もあるが、個々に働きかけるとともに、11月に開催する地区部会連絡会でも説明を行うことにしている。

<協議の結果>

委員長： 次回は2月17日(土)午前中と決まりました。

委員： 次年度もパイロット事業の実施は可能か。

事務局： 予算のことは議会があるので明確に言えないが、こちらからは要望をしていくことにしている。

委員長： 今後の取り組みについては、時間の関係もあり十分とは言えないので、委員の皆様のご意見を事務局へFAX・電話などで提出してください。事務局、対応お願いします。

事務局： 後ほど委員の皆様にはご連絡します。

閉会

副委員長が、会議終了を宣言し、第三回中央区地域福祉計画推進協議会を閉会した。